

令和 7 年度第 1 回行政改革推進委員会 次第

日時：令和 7 年 5 月 2 0 日（火）
午前 9 時 3 0 分から
場所：岩滝保健センター
2 階 会議室 1 ・ 2

1 開会（会長挨拶）

2 議題

（1）第 3 次与謝野町行政改革大綱の進捗について【資料 1】

（2）令和 6 年度答申について【資料 2】

（3）その他

・今後のスケジュールについて【資料 3】

3 閉会（会長代理挨拶）

与謝野町行政改革推進委員会 委員名簿
(任期：令和４年７月８日～令和７年７月７日)

氏 名	役 職 等	役職
浅 利 美 鈴	総合地球環境学研究所 基盤研究部 教授	
伊 藤 伸	一般社団法人 構想日本 総括ディレクター	会長
佐 賀 利 裕	有識者	
西 川 明 宏	会社役員	会長代理
山 添 謙 三	税理士	会長代理

50音順、敬称略

与謝野町行財政経営マネジメントアドバイザー

氏 名	役 職 等
杉 岡 秀 紀	福知山公立大学 地域経営学部 准教授

敬称略

与謝野町行政改革推進委員会 事務局職員名簿

氏 名	役 職
山 口 崇	与謝野町企画財政課長
小 室 光 秀	与謝野町企画財政課ふるさと応援促進室長
大 江 聡	与謝野町企画財政課主幹
井 上 朱 里	与謝野町企画財政課係長
渡 邊 稔 之	与謝野町企画財政課係長

■ 第 3 次与謝野町行政改革大綱_実施計画_令和6年度の取組状況と評価

基本方針 1 持続可能な行財政基盤の確立

目指す姿 1：安定的な財政運営の継続

目標	①財政収支の実質的黑字化（財政調整基金の取り崩しなし）
	②債務償還可能年数7.1年以下
	③実質公債費比率15%以下



結果概要	達成/未達成
※ 5月末に確定	-
※決算分析の際に算出（7月）	-
※決算分析の際に算出（7月）	-

【具体的取組 1】財政計画の点検・更新・実行

実行内容	計画
財政計画の点検・更新・実行	点検・更新・実行



評 価	実績
令和 5 年度決算を反映させ点検・更新を実施するとともに、実行して令和 6 年度地方債発行額を511,288千円と抑制している（令和 7 年度予算においても財政計画に基づき地方債発行額の抑制を実施している）。	点検・更新・実行

【具体的取組 2】歳入確保の取組

実行内容	計画
受益者負担の適正化	調査・調整
ふるさと納税の寄付額	1 億円
未利用地など可有財産の売却・利活用	2 件



評 価	実績
令和 6 年度においては、庁内プロジェクトチームでの勉強会を実施した。水道料金の改定について、令和 7 年度に実施する条例改正が令和 6 年度 3 月議会で議決された。	実施
ふるさと納税事業（個人版）においては、返礼品の充実等に努めた結果、前年度から14,437千円増（31%増）の60,953千円となった。企業版ふるさと納税においては1,900千円増（316.7%増）の2,500千円となり、合計では16,337千円増（34.7%増）だが、目標金額には達することはできなかった。	ふるさと納税寄付額 63,453千円
売却・利活用の可能な未利用地の情報をホームページで公表し売却や貸付の希望を受付けることをスタートした。初年度から 1 件の新たな貸付を実施することができたが、目標件数には達することができなかった。	1件

目指す姿 2 行政資源の効率的・効果的な活用

目標	①事務事業評価の継続実施
	②公共施設等総合管理計画方針の実行
	③デジタル技術を活用した行政手法の転換
	④持続可能な執行体制の確立と働きやすい職場環境整備の推進



結果概要	達成/未達成
引き続き事務事業評価を実施した。	達成
公共施設等総合管理計画に基づく方針を実行できた。	達成
令和 6 年度の具体的な取り組みとしては試行段階であり、活用可能であることを確認したが、行政手法の転換までは到達していない（DX推進計画を策定し）。	未達成
職員の配置の工夫や働きやすい環境整備に向けて取組を実施したが、正職員数は減少した。	未達成

【具体的取組 3】スクラップ・アンド・ビルドの徹底と事務事業の整理

実行内容	計画
重点施策調整会議の実施（スクラップ・アンド・ビルドの徹底）	3 回
事務事業評価の実施	実施
無作為抽出方式を活用した事務事業評価	実施
事務事業評価結果のフォローアップ	実施



評 価	実績
理事者と事業課で、R6年度の重点施策の進捗や新規・拡充事業の方向性の確認、横断的プロジェクトチームの進捗確認、京都府要望の調整等を図った結果、スクラップ・アンド・ビルドを念頭においた、令和7年度当初予算編成に向けた事前調整や協議を進めることができた。	3回
全事業で一次評価を実施し、3 9 事業の二次評価を実施した。そのうち 2 8 事業については見直しを実施することとした（他事業との統合3事業、予算削減を伴う見直し1事業、予算増減のない見直し20事業、予算拡充を伴う見直し4事業）。	実施
無作為抽出方式により選ばれた町民が参加する与謝野町自分ごと会議を開催し、その中で公共交通に係る 3 つの事業について事務事業評価を実施することができた。	実施
過去に実施した57事業の事務事業評価結果について、進捗チェックを実施した。結果は計画通り進捗が48事業、変更があったものが9事業。	実施

【具体的取組 4】公共施設等総合管理計画の実行

実行内容	計画
公共施設等総合管理計画に定める方針の実行	実行



評 価	実績
8 施設の廃止と新のたがわこども園整備に着手するなど、着実に実行することができた。	実行

【具体的取組 5】デジタル技術を活用した行政手法の転換

実行内容	計画	評価	実績
行政手続きのオンライン化（電子申請）	調査・試行	多様な業務に活用できる電子申請システム「LoGoフォーム」を導入し活用することができた（例：選挙の立会人募集等。二次元コードから読み取り、スマートフォンやパソコンから申請可能であるため、スムーズに登録が可能であり、今後も他の業務に広がっていく。）。	LoGoフォームの導入
ペーパーレス会議システムの活用（介護認定審査会）	環境整備・試行		介護認定審査会でipad 20台整備

【具体的取組 6】持続可能な執行体制の確立

実行内容	計画	評価	実績
職員採用計画による職員採用	実施	職員採用計画に基づき職員採用を実施しているが、十分な採用者数（10名を採用）を確保できておらず、会計年度任用職員で補充している。	採用計画における正職員の定数 262名 R7.4.1 245名 （前年度比▲6名） 不足数 17名 ※不足数は会計年度で補充
ジョブローテーションを活用した職員配置	実施		全職員（課長職は除く）に対してジョブローテーションを実施し、それを基にした職員配置を実施した（職員が働きやすく力が発揮できる環境づくりに繋がる）。 ジョブローテーションの実施

【具体的取組 7】働きやすい職場環境整備の推進

実行内容	計画	評価	実績
管理監督者研修の実施（マネジメント、ハラスメント対策等）	実施	管理監督者に限らず、働きやすい職場環境の実現のため、職員研修に取り組んでおり、令和6年度は課長研修（ハラスメント対策）に7名参加した。	課長研修（ハラスメント）参加者7名

基本方針 2 多様な主体が協働したまちづくりの推進

目指す姿 1 連携による地域課題の解決

目標	地域活動に参加する住民等の増加
----	-----------------



結果概要	達成/未達成
地域の課題解決に向けた対話の場や地域コミュニティ活動の推進により、参加住民等が増えた。	達成

【具体的取組 8】地域課題の解決に向けた取組への支援

実行内容	計画
地域の課題解決に向けた対話の場づくり	3 事例
地域づくり支援補助金活用団体数	30 団体



評価	実績
区長会での対話・意見交流実施のほか、協働への理解深化を促す区民講座や生活支援整備体制事業との連携協議、区民アンケートに基づいた公民館有効活用会議の開催、祭りの担ぎ手募集に関する協議など、地域課題を地域住民が解決していく当事者意識・協働気運の醸成につながった。	6 事例
活用団体数の内訳は、自治会・地縁団体など26団体、NPO・まちづくり活動を実施する任意団体など8団体。自治会活動だけでなく、さまざまな分野の団体が補助金を活用することができた。	34 団体

目指す姿 2 住民参画による町政の活性化

目標	目標：町の意思決定に住民が様々な形で参画する機会の増加
----	-----------------------------



結果概要	達成/未達成
無作為抽出方式を活用した対話・意見交流会及びまちづくりに関する住民アンケート実施により、住民参画機会が増えた。	達成

【具体的取組 9】多様な住民が参画するまちづくりの実現

実行内容	計画
無作為抽出方式を活用した対話・意見交流会	3 回
まちづくりに関する住民アンケート	1 回



評価	実績
与謝野町自分ごと会議を開催（全3回、うち1回は無作為抽出方式を活用した事務事業評価）。「与謝野町の公共交通を考える」をテーマに無作為抽出により応募された住民26人（参加者22人）が、与謝野町の公共交通の現状を踏まえながら未来に向けて地域の交通を考え、提案書として提出された。	3 回
町政やまちづくりに関する町民の意識を把握し、町民意識の変化や各分野・各施策に対する評価・ニーズを統計的に集計・分析した。とりわけ、インターネットからの回答件数が増加（前年度比約7.5%増）し、住民参画機会の拡大につながった。	1 回

4 与企財第 3 4 8 号

令和 4 年 7 月 2 5 日

与謝野町行政改革推進委員会

会長 伊 藤 伸 様

与謝野町長 山 添 藤 真

与謝野町行財政経営マネジメントの推進について（諮問）

与謝野町行財政経営マネジメントの推進について、下記のとおり意見を求めたいので、与謝野町行政改革推進委員会条例第 2 条（平成 1 8 年 3 月 1 日条例第 2 8 号）の規定により諮問します。

記

- ① 第 3 次与謝野町行政改革大綱実施計画の進捗に関する意見（答申時期：毎年度）
- ② 事務事業評価に関する意見（答申時期：毎年度）
 - ・ 事務事業評価（二次評価）を実施した上での意見
 - ・ 事務事業評価実施後に報告を受けた内容に関する意見
- ③ 与謝野町行財政経営マネジメントの推進全般に関する意見（答申時期：毎年度）
 - ・ 上記①、②以外の与謝野町が推進する行財政経営マネジメントの取組に関する意見

令和 7 年度 行政改革推進委員会

主なスケジュール（予定）

令和 7 年

- 5 月 2 0 日（火） ○第 1 回行政改革推進委員会
- ・第 3 次与謝野町行政改革大綱の取組状況について
 - ・令和 6 年度答申について

- 7 月 1 日（火） ○令和 6 年度の与謝野町行財政経営マネジメントに関する
答申

- 7 月 8 日（火） ○次期委員の委員委嘱
(令和 7 年 7 月 8 日～令和 1 0 年 7 月 7 日)

- 8 月上旬 ○第 2 回行政改革推進委員会
- ・会長、会長代理の互選
 - ・令和 7 年度事務事業評価の二次評価について

- 9 月上～中旬 ○令和 7 年度事務事業評価 二次評価

- 1 1 月中旬 ○行政改革推進委員と役場管理職 意見交換会

令和 8 年

- 2 月中旬 ○第 3 回行政改革推進委員会
- ・令和 7 年度事務事業評価の報告について
 - ・第 3 次与謝野町行政改革大綱の進捗について

現
委
員

新
委
員

【参考】

令和 7 年

- 9 ～ 1 1 月 ○地域デザイン会議（案内）
- ・テーマに沿った住民会議（仮称）（4 回開催）
 - ・中高生による住民会議（仮称）（1 回開催）